

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
 (令和4年10月解析分)

◎ 今月のトピックス

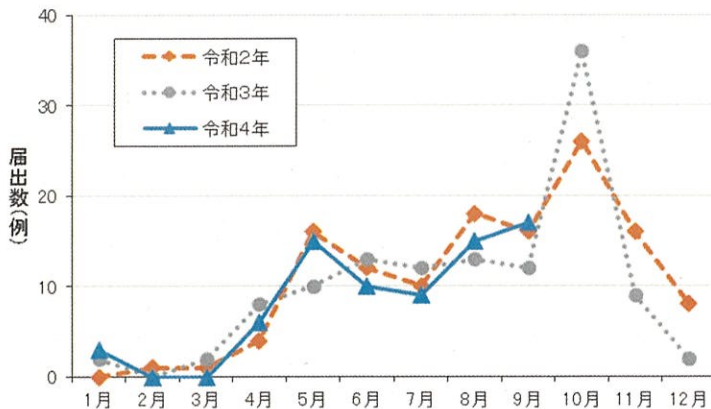
■ 涼しい秋の季節も野外ではダニ媒介感染症に注意が必要です！！

ダニ媒介感染症とは、病原体を保有するダニに咬まれることによって起こる感染症のことです。野外作業や農作業等で、これらのダニの生息場所に立ち入ると、ダニに咬まれることがあります。

感染症名	潜伏期間	症状		治療薬
		初期症状	特徴	
SFTS (マダニが媒介)	6～14日		消化器症状 食欲不振、嘔気、嘔吐、腹痛、下痢など その他の症状 頭痛、筋肉痛、神経症状、リンパ節腫脹など	なし (※症療法のみ)
日本紅斑熱 (マダニが媒介)	2～8日	倦怠感 悪寒 急な発熱 (38～40℃)	発疹 発熱の後にやや遅れて、体幹部や四肢に米粒大や小豆大の紅斑が出る(痛み・かゆみはない。日本紅斑熱の場合は、手のひらに見られることもある) 刺し口 衣服に隠れた皮膚の柔らかい部分にある場合が多く、「かさぶた」が形成される(つつが虫病の刺し口のかさぶたは、日本紅斑熱より大きくわかりやすい)	あり
つつが虫病 (ツツガムシが媒介)	5～14日		その他の症状 食欲不振、頭痛、筋肉痛など	

ダニ媒介感染症は、マダニ等の活動が活発化する春～夏に多いイメージですが、孵化後の秋に多く発生しています。過ごしやすい秋を迎え、アウトドアレジャーや山菜採り等でダニと接触する機会が増えていますので、ダニ対策を徹底しましょう。

マダニ等が媒介する感染症の月別発生状況 (広島県)



←日本紅斑熱を媒介するダニの一種
ヤマアラシチマダニ



つつが虫病を媒介するツツガムシの一種
フトゲツツガムシ

【マダニやツツガムシに咬まれないようにするには？】

長袖、長ズボン (シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる、または登山用スパッツを着用する)、足を完全に覆う靴 (サンダル等は避ける)、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくすることが大事です。野外活動から戻ったら、ダニが体に付いていないか確認しましょう。

ネコの SFTS は人と同じ地域で、ヒトより若干先行して発生する傾向がみられます

広島県獣医師会では県下の飼育動物における SFTS ウイルスの感染実態を把握する目的で、SFTS サーベイランスを実施しています。特定の地域で高い陽性率を示し、各四季を通じて発生していますが、中でも令和3年の冬から春先にかけて高い陽性率を示したと報告されています。

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和 4年 9月分(令和4年9月5日～令和4年10月2日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	6	0.01	0.14		10	ヘルパンギーナ	68	0.24	0.57	↗
2	RSウイルス感染症	476	1.69	1.99	↘	11	流行性耳下腺炎	4	0.01	0.12	↘
3	咽頭結膜熱	31	0.11	0.31	↘	12	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	54	0.19	0.86	↗	13	流行性角結膜炎	21	0.28	0.63	↗
5	感染性胃腸炎	766	2.73	3.14	↗	14	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	
6	水痘	12	0.04	0.15	↘	15	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
7	手足口病	200	0.71	0.90	↓	16	マイコプラズマ肺炎	1	0.01	0.07	
8	伝染性紅斑	4	0.01	0.08		17	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	88	0.31	0.35	↗	18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.02	

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和 4年 9月分(9月 1日～9月 30日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	72	3.13	2.79	↗	23	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	72	3.43	3.45	↗
20	性器ヘルペスウイルス感染症	22	0.96	0.96	↘	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	4	0.19	0.16	
21	尖圭コンジローマ	12	0.52	0.66	↘	25	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.01	
22	淋菌感染症	17	0.74	1.15	↘						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患 なし
○急減疾患 手足口病 (1.62 → 0.71)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5~2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患, 月報対象7疾患)について, 県内178の定点医療機関からの報告を集計し, 作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1~11	12, 13	19~22	14~18, 23~25	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	24	結核(24)〔広島市保健所(11), 呉市保健所(1), 福山市保健所(8), 東部保健所(4)〕
三類	4	腸管出血性大腸菌感染症(4)〔広島市保健所(2), 福山市保健所(1), 西部東保健所(1)〕
四類	20	レジオネラ症(3)〔広島市保健所(1), 福山市保健所(1), 西部保健所(1)〕 つつが虫病(1)〔広島市保健所(1)〕 日本紅斑熱(16)〔広島市保健所(2), 呉市保健所(3), 福山市保健所(3), 東部保健所(7), 西部保健所(1)〕
五類	57	アメーバ赤痢(3)〔広島市保健所(1), 呉市保健所(1), 西部保健所(1)〕 カルバペネム耐性腸内細菌感染症(3)〔福山市保健所(1), 西部保健所(1), 西部東保健所(1)〕 バンコマイシン耐性腸球菌感染症(2)〔広島市保健所(1), 呉市保健所(1)〕 急性脳炎(3)〔広島市保健所(3)〕 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)〔西部保健所(1)〕 後天性免疫不全症候群(3)〔広島市保健所(2), 西部東保健所(1)〕 侵襲性肺炎球菌感染症(2)〔広島市保健所(1), 西部保健所(1)〕 破傷風(1)〔福山市保健所(1)〕 百日咳(1)〔西部保健所(1)〕 梅毒(38)〔広島市保健所(31), 福山市保健所(2), 呉市保健所(3), 西部東保健所(1), 西部保健所(1)〕
新型インフルエンザ等感染症	62,173	新型コロナウイルス感染症(62,173)〔広島市保健所(28,671), 福山市保健所(10,528), 呉市保健所(4,940), 西部保健所(6,732), 西部東保健所(4,513), 東部保健所(5,074), 北部保健所(1,715)〕